



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園
校長 井上 美保
令和6年10月3日発行
10月号

主体的に働くための土台づくりを・・

校長 井上 美保

生徒の皆さん

猛暑と言われた長く暑い夏の間、日ごろの授業や部活動にもしっかり取り組むことができ、学校生活の中でも水分補給など自分の体調を整え管理できたことは、素晴らしいことです。

終業式でも話しましたね。日本の季節は五つに増えた。『四季』ではなく『五季』に考え方を変えているとも言われています。「春・夏・猛暑・秋・冬」となるのでは？

10月に入り、朝夕は少し過ごしやすくなりましたね。これからも皆さんが、体調を崩すことなく有意義な学校生活を送れるように健康に気を付けていきましょう。

さて、最近感じることです。

皆さんは、「決めるときは決める」「緩めるときは緩める」そんなことができるようになってきていると感じます。例えば、全校集会。終業式や始業式。壇上から300人の生徒の皆さんに話しかけると、真剣に話を聞くまなざしや態度から、日ごろの先生たちの指導や皆さんの学びの成果が大きな舞台上で発揮されるのだと実感します。私自身も必要なことは繰り返し伝えます。忘れるようなら覚えるまで伝え続けます。生徒指導の先生たちも同じです。何度も繰り返し話をするのは、皆さんが幸せな学校生活を送るために、大事だと思うこと、わかってほしいと思うことが沢山あるからです。

さあ、後期がスタートしました。

後期は、1年生は初めてのインターンシップが。2年生は、そろそろ自分が見えてくるときでしょうか。3年生はいよいよ進路決定ですね。

就労に向けて必要となる土台は、「あいさつ・返事・健康管理・身だしなみ・決まりを守ること」だとお話しました。当たり前でできそうで、続けていくのはとても難しいことです。この土台が崩れないからこそ、さらに必要な力を積み上げていくことができるのです。

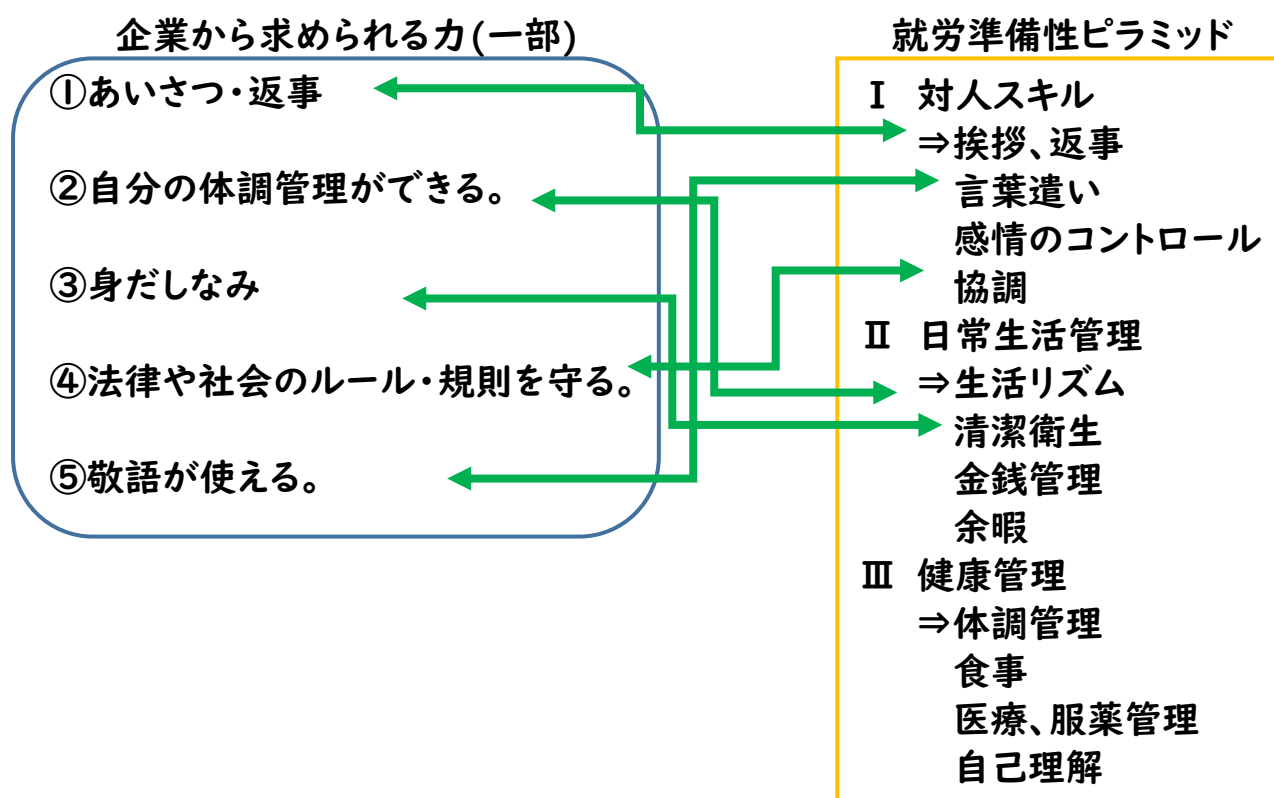
これからの社会は予測不可能です。皆さんを巡る社会環境や将来の職種も変化していくでしょう。たとえどんな時代が来ても働くための基礎的・基本的な力は変わりません。学校生活も後半戦。自分を理解し、できることはさらなる高みを目指し、できないことは少しでもできるようにする努力をしていきましょう。

先生たちは、そんな皆さんを正しく理解し正しい方向に導くために勉強し続けていきます。

後期スタートは次のステージへの準備期間

主幹教諭 小嶋 利信

後期がスタートしました。3年生は、いよいよ就労先を決定する大事な時期となりました。2年生は、3年生を引き継いで、最高学年になるための準備期間となり、1年生は、受検をして入学する後輩が確定し一つ上の模範となる先輩を目指します。後期はそれぞれ、3年生は「就職先の決定」、2年生は、「インターンシップでの実践」、1年生は、「コース決定に向けて」、今まで学んだことを生かしてください。実践することから自己の課題を把握し改善をして自己を磨いて行ってほしいと思います。そこで後期は「働く力」を付けるために、今一度、自分の生活や態度を見直してみましよう。また、自分の働く姿をイメージしてください。以下、「企業から求められる力の一部」と「就労準備性ピラミット」の内容を結びつけてみました。



「企業から求められる力の一部」と「就労準備性ピラミット」で就労に必要な生活力は合致しています。また、「就労準備性ピラミット」で示した内容は、普段の学校生活で学んでいる内容や「南大沢スタンダード」と合致しています。つまり、学校で学んだ内容をしっかり理解して生活することが大切です。後期を充実させるために、今一度、基礎・基本が身に付いているか、確認してみてください。